

祝！卒業

未来へ羽ばたく子どもたち



①答辞を読み上げる千賀さん ②③合唱する卒業生たち
④校長先生から卒業証書を受け取る卒業生 ⑤仲間の答辞に涙をにじませる卒業生たち

旅立ちの季節、3月——。

町内の小学校および中学校で卒業証書授与式が行われ、326人（小学校 148人、中学校 178人）の子どもたちが、思い出の詰まった学び舎を巣立ちました。

与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校では、73人（うち、与謝野町 44人）の生徒が卒業の日を迎えました。式では、卒業生を代表して千賀和香さんが3年間の中学校生活を振り返り、「大切な、大切な仲間へ——。明日から歩む道の先にあなたがいないことは寂しいけれど、私たちの心は消えることのない群青の絆で強く結ばれています。この73人で過ごした思い出を忘れることはないでしょう」と答辞を述べました。言葉に詰まりながらも、共に過ごした仲間や支えてくれた先生方、そして15年間見守り続けてくれた家族への感謝の思いを伝える姿に、会場は静かな感動に包まれました。

最後は在校生や教職員、保護者からの大きな拍手に送られながら、それぞれがまだ答えのない未来へ、まだ名前のない夢へと力強く歩みを進めました。



卒業生たち、丹後の伝統とともに新たな一歩

町内の小学校では、丹後ちりめんの産地ならではの着物で卒業する児童たちの姿が見られました。

岩滝小学校では33人の児童たちが、色とりどりの着物や真新しい中学校の制服に身を包み、卒業式を迎えました。最後の「卒業を祝うことば」では、卒業生たち一人ひとりが、「信頼される人になりたい」「いろいろな人を助けられる人になりたい」など、将来の目標を発表。それぞれの目標に向かって努力していくことを力強く誓い、学び舎を巣立ちました。



華やかにあしらわれた髪飾り



目標を発表する卒業生たち

